



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

39号

令和6年12月8日

国保直診・口腔保健研修会

全国国保地域医療学会の前日 10月3日盛岡にて歯科の研修会がありました。「災害時の多職種連携と歯科の役割～東日本大震災・能登半島地震を経験して～」をテーマに東日本大震災の時に歯科の活動を指示した岩手県の大黒先生（写真前列右から4番目）と能登半島地震の被災者でもある能登総合病院の長谷先生（写真前列右から3番目）に講演して頂きました。今思えば東日本大震災は、県を跨ぎ広い範囲で死者、行方不明者も想像をはるかに超えるものでした。能登半島地震は、復旧・復興が追い付かないまま追い打ちをかけるように豪雨災害に見舞われ“神様はいないのか”という能登の人々の生の声を聞きました。



今の日本 どこで災害に見舞われるか判りません。これまでの災害が“喉元過ぎれば熱さ忘れる”とならないように日々準備が必要だという事を実感した研修会となりました。

口腔がん ～その1～

某女優が口内炎と診断され経過観察していたけどなかなか治らず、実は舌がんだったということをワイドショーで放送していたのを思い出します。



がん全体に占める口腔がん割合は、約1%とされています。歯科を開業している歯科医師が一生に1度会うかどうかといったぐらいの数です。しかしながら、口腔がんは、年々増加傾向にあります。男女比は3：2で男性が多くなっています。ただ、原因ははっきりと判っていません。飲酒、喫煙習慣、物理的な刺激や口腔内の不衛生な状態などが危険因子

と言われています。写真は、上の歯茎にできた“歯肉がん”です。「口内炎が治らない」「くちの中にできものが出来た」など違和感があったら一度**歯科に相談**してみてください。

文責 診療部長 占部秀徳